

# 不快害虫駆除剤

# コイレット

## Q & A

**コイレット** は、散布時の粉立ちや水系に対する影響を考慮した、これまでにない全く新しいタイプの不快害虫駆除剤です。これから使ってみようとしているあなた！でも、いろいろな疑問や不安がありますよね。初めて使う不快害虫剤というのは、『効果はあるのだろうか？』、『これまでに使っていた薬と何が違うのだろうか？』、『安全なのかな？』、『使いやすいのかな？』等々……。

そんなみなさんの疑問にお答えするために、『コイレット Q&A』を作成しました。この『Q&A』をよくお読みになって、本剤を知ってくださればと思います。さらに、実際に使うことによって、本剤の使い易さ、安全性、そしてもちろんの事ですが、その優れた効果を実感してください。

サンケイ化学株式会社

## コイレット Q&A

Q-1 コイレットの有効成分は何ですか？

A-1 フェノブカルブです。農薬で言うBPMC(バツサ)と同一成分です。  
製剤毒性は、人畜毒性が普通物、魚毒性がA類相当ですので安全性の高い製品と言えます。

Q-2 どのような虫に効くのですか？

A-2 ヤスデ、アリ、ダンゴムシ、ワラジムシ、ハサミムシ、ムカデ、ヤマビル等の不快害虫に効果があります。

Q-3 散布したときに粉立ちがありますか？

A-3 コイレットは細粒剤(砂よりも少し大きい粒)ですので、粉立ちがなく、安心してご使用いただけます。

Q-4 これまでの不快害虫剤と比べたときのメリットはなんですか？

A-4 ①粉立ちがないこと、②降雨による流亡が少ないこと、③水系に対する影響が少ないこと、④人畜に対し安全性が高い普通物であることです。

▼『現在市販されている不快害虫剤は粉立ちがあり使いにくい』とのお客様からのクレームを聞いたことがきっかけで、粉立ちがなく、環境に対する影響の少ない商品を提供することを目指して開発しました。

▼特に力を入れたのが、水系に対する影響を軽減すること。住宅地の周りは側溝などたくさんの水系に繋がるものが存在します。そのような場所で仮に薬剤が側溝を流れたとしても、有効成分が水に溶け出しにくいよう特殊加工していますので、環境に対して安全性の高い製品といえます。

▼また、細粒剤ですので通常の降雨であればほとんど流れることはありません。しかし、コンクリートやアスファルトなどの上に散布すると通常の降雨でも流されるおそれがありますので、できるだけ土表面に散布してください。

Q-5 どのくらいの量を撒けばよいのですか？

A-5 散布量は1㎡あたり20～30gを目安にしてください。1袋(3kg)で約100㎡分散布ができます。

Q-6 散布量を少なくしたいのですが、可能ですか？

A-6 散布量を少なくするとその分効果が低下しますので、散布量をきちんと守ってください。

Q-7 どのような場所に散布すれば良いのですか？

A-7 不快害虫の生息・発生しやすい場所に散布してください。鉢やプランターの下等に撒くと効果的です。

家屋への侵入を防止するには侵入の通路になる床下、基礎の周囲、家屋の外壁周り等に幅30～50cm程度の帯状に散布してください。また、アリに対しては巣の周りや蟻道に沿って撒くと効果的です。

#### <散布時の注意点>

▼できるだけ土表面に散布し、砂利等がある場合はそれらを除去して散布してください。

▼散布したい場所に生えている雑草はできる限り抜き取ってください。

▼**食用作物がある場所には絶対に散布しないで下さい。**

Q-8 どのくらいの時間で駆除できますか？

A-8 不快害虫の種類によって異なりますが、数十分以内には効果が発揮されます。

Q-9 どのくらいの期間、効果が持続しますか？

A-9 本剤の効果の持続期間は14日程度ですので、連続使用を行なう場合は2週間に1回散布してください。

Q-10 散布後、雨が降ってしまいました。効果に影響はありますか？

A-10 普通の降雨で薬剤の効果がなくなることはありませんが、薬剤が流亡するほどの降雨があった場合は、再散布を行なってください。

Q-11 畑などにも撒いてよいのですか？また、どのような場所に撒いたらいけないのか教えてください。

A-11 A-7にも記載しましたが、**食用作物がある場所には絶対に散布しないで下さい。**畑でなくとも、降雨などにより畑に入りそうな場所では散布を控えるか、畑に入らないように障害物を置くなど工夫してお使いください。

また、水系の近くでは散布を控え、側溝などに直接散布しないでください。

Q-12 人やペット、魚などに対する注意点は？

A-12 家きん、家畜、ペット等が誤食するおそれのある場所では使用しないでください。通常の使用方法では低毒性ですが、誤食等のないように注意してください。

犬や猫などの動物が立ち入る可能性のある場所には散布しないようご注意ください。

本剤は水系に対する影響を軽減した環境保全型の製剤ですが、直接水の中に入れたり、側溝の中に散布することは絶対にしないでください。

ご使用時は用法用量を必ず守ってください。

Q-13 子供が誤って薬剤を飲み込んだ場合はどうすればよいですか？

A-13 万一、身体に異常を来した場合や誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに本剤の商品名、成分名を医師に告げて診療を受けてください。

使用した後、あるいは皮膚に付いたときは石けんと水でよく洗い、水でうがいをしてください。また、眼に入った場合には直ちに水でよく洗い流してください。

Q-14 使い終わって薬剤が余った場合はどのような場所に保管すればよいですか？

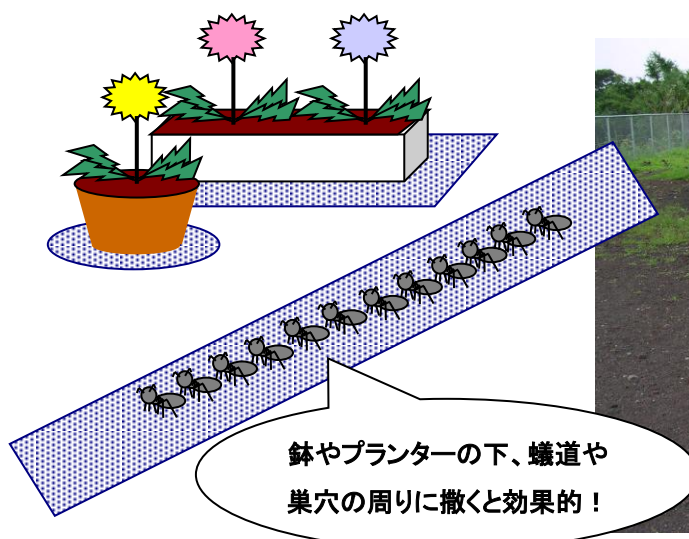
A-14 使用後残った薬剤は必ず保管場所に戻し、密封してください。

保管場所は食品、食器、飼料等と区別し、子供の手の届かないところで、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にしてください。

Q-15 袋の内側に薬剤の粉が付着していますが、一般家庭ごみとして処分してもいいのですか？

A-15 地方自治体が事業などで使用された場合の使い終わった袋は、産業廃棄物として扱ってください。一般家庭(個人)の場合は一般ゴミとして各地方自治体の決められた方法に従って処分してください。

## 【効果的な散布方法】



## 【家屋周囲に散布する場合の例】

